

第1回 SPARC Japan セミナー2020

研究データ公開

フルオープンと制限公開の境界線

2020年10月2日(金)13:00-17:00
オンライン開催

研究データの公開が広く推奨されている一方で、条件を満たした特定の利用者のみデータを提供する制限公開を行っている学術分野がある。昨今、研究データのライセンスや機密保持の観点からこの制限公開に対する関心が高まっているが、どのようなルールに基づいて研究データを公開、制限公開、非公開に区別しているのか、データ所有者、データ利用者等のステークホルダーとどのような取り決めを行っているのかについてはよく知られていない。また、特定の研究者、機関内のみ限定して研究データを提供する制限共有との違いは何だろうか。

現在、制限公開や制限共有を行う機関から制限公開の実態（データ提供者との関係性、制限公開の提供フローとその労力、利用者情報の管理）を共有することで、機関が制限公開を行う際の課題を明らかにする。

登壇者(敬称略)

- 池内 有為
(文教大学文学部)
- 海老沢 研
(宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所)
- 上島 邦彦
(株式会社日本データ取引所)
- 三橋 信孝
(科学技術振興機構バイオサイエンスデータベースセンター)
- 桂樹 哲雄
(農業・食品産業技術総合研究機構(農研機構))
- 篠田 陽子
(物質・材料研究機構 統合型材料開発・情報基盤部門)
- 仲 修平
(東京大学社会科学研究所)



プログラム

13:00-13:05	開会/概要説明 朝岡 誠 (国立情報学研究所)
13:05-13:25	「研究データの公開・利用条件指定ガイドライン」と制限公開 池内 有為 (文教大学 文学部/研究データ利活用協議会 研究データライセンス小委員会)
13:25-13:45	宇宙科学研究所におけるデータ公開・制限公開に関する議論の紹介 海老沢 研 (宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所)
13:45-14:05	データ流通市場におけるデータ公開の事例・論点 上島 邦彦 (株式会社日本データ取引所)
14:05-14:25	ヒトデータの共有のための取り組み 三橋 信孝 (科学技術振興機構 バイオサイエンスデータベースセンター)
14:25-14:40	休憩(15分)
14:40-15:00	農研機構統合DBの構築とデータ共有の取り組みについて 桂樹 哲雄 (農業・食品産業技術総合研究機構(農研機構) 農業情報研究センター)
15:00-15:20	材料分野の研究データ公開における理想と課題～NIMSの事例から～ 篠田 陽子 (物質・材料研究機構 統合型材料開発・情報基盤部門)
15:20-15:40	社会科学分野におけるデータ提供の実態—データアーカイブ機関と利用者の最前線 仲 修平 (東京大学社会科学研究所)
15:40-15:55	休憩(15分)
15:55-16:55	パネルディスカッション 池内 有為, 海老沢 研, 上島 邦彦, 三橋 信孝, 桂樹 哲雄, 篠田 陽子, 仲 修平 モデレータ: 八塚 茂, 林 賢紀
16:55-17:00	閉会



参加費
無料



オンライン
開催



@SPARC_JP_event
#sparcjp202001



参加申込: 2020年 9月下旬より 以下サイトより受付開始

<https://www.nii.ac.jp/sparc/event/2020/20201002.html>

※お申し込み後, Web会議システムへの接続先情報等をお送りいたします。



お問い合わせ先: 国立情報学研究所 SPARC担当
sparc-seminar@nii.ac.jp

2020年度年間テーマ: 学術情報流通の新たな地平

～COVID-19を契機とした再検討～

第1回 2020年10月2日(金)

研究データ公開: フルオープンと制限公開の境界線

第2回 2020年10月下旬(予定)

多様化するプレプリントの動向とBibliodiversityの課題(仮)

第3回 2021年1～2月(予定)

研究データ管理 Part.2: 管理と公開の実際(仮)